

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中野市の農産物・情報発信拠点「Na-ハーベスト」運営事業
事業主体 (連絡先)	Na-ハーベスト有限責任事業組合
事業区分	(6)イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,701,314円 (うち支援金: 1,154,000円)

事業内容

- 1、夏場の農産物の劣化を防ぐために冷蔵庫、シヨウケースつき冷蔵庫を設置。
- 2、農産物の販売はじめ、贈答品、宅配、ワークショップ、ケータリング、各種催し物の開催、参加など積極的に取り組んだ。
- 3、桃、りんご、新そば、味噌作り等、旬の時期には藤沢市へ行き消費者と交流した。
- 4、チラシの配布に力を入れた。(各事業開催に当たり100枚ずつチラシを作成し、手渡しした。)
- 5、鎌倉出店のプロローグとして、藤沢に1軒家を借り事業開催の時には、中野市食材のPRと、北信州の紹介もしてきた。



【Na-ハーベスト】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①借家の有効利用と、中野市農産物のPRをかねたワークショップはより深い理解と中野市訪問を促した。
- ②冷蔵庫を入れたことにより、商品の劣化を防ぎ信頼が保持できた。
- ③消費者との交流を重ねることにより中野市及び北信州を身近に感じてくれる人が増えた。また、チラシを手渡し配布することにより中野市及び北信州の紹介が出来た。

【目標・ねらい】

- ①中野市のブランド化。
- ②中野市農産物の有利販売。
- ③中野市及び北信州への理解、誘客

※自己評価【A】

【理由】

やれることはやった1年だと思う。組合を設立し団結と、責任感が生まれた。10人の組合員と仲間がさらに結集して目標達成に向け前進できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

27年度と同様、いろいろなことを企画立案し、ハーベストの売り上げを増し、1日も早く鎌倉市へ出店したい。更なる中野市のブランド化、北信州への誘客を図りたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある